

群馬は火山がくっくった。群馬大早川由紀夫教授(火山学)とともに、このほどヘリコプターで、県内各地を視察し、火山がもたらすさまざまな恩恵を体験した。浅間山が昨年秋に21年ぶりの中規模噴火をしてから、1年余、早川教授の寄稿とともに、火山によって形成された美しい県土の表情を見つめてみた。

(伊藤隆太郎)

火山が創造美しい県土



噴煙を上げる浅間山と、ふもとに広がる榛野村や長野原町の町並み。長野県境の浅間山上空で

■次々と姿を変えてきた赤城山■
40万年前 火山活動が始まる。富士山のような成層火山へ成長開始。
30万年前 利根川や片品川をせき止め、古沼田湖をつくる。
13万年前 山体崩壊。土石なだれにより橋山や権現山ができる。
7万年前 鍋割山や鈴ヶ岳などの溶岩ドームが形成。大規模な軽石噴火。園芸用で有名な鹿沼土ができる。
3.5万年前 その火口の中に大沼や小沼が誕生する。たび重なる土石流によって、白川扇状地や扇状地を形成する。大地震が起き、南側斜面で山崩れが発生。ふもとの利根川が、広瀬川から現在の流路へ変わる。
2万年前
818年
16世紀ごろ

小高い丘や河岸段丘に痕跡

赤城山と榛名山、武尊山や子持山や小野千山。そして浅間山も草津白根山も。山々は、みな火山だ。大地は生きていて、「陸地は常に隆起しているから、陸地でいられたら、すもしまつた。また、河川の浸食ですべて崩れて低くなつてしまつたはず。飛び立ったヘリコプターが利根川上空に差しかかると、早川教授が言ふ。そうか、思わず驚いてしまふ。隆起の速度はたいに1年に1ミリ、千年で1センチの計算だ。1千回の隆起には100万年かかるといふ途方もない時間がかかっている。

ヘリが浅間山の上空に飛ぶと、火口のまわりの無数の白い岩が見えた。昨年9月の爆発で飛んできた火山弾だ。この日も、浅間山はもくもくと噴煙を吐き出し、高温の火口底は観察できなかった。草津白根山の周辺は、



草津の温泉街(左)に迫るような二つの小丘は、草津白根山から流れ出した溶岩の跡だ。草津町で片品川沿いに広がる見事な河岸段丘は、赤城山の活動によって形成された。沼田市で、いずれも本社ヘリから

浅間噴火この先も

前夜の予報通り噴れ、溶岩ドームの上、三宅上がった草朝(ヘリコプター)で浅間山を目指した。旧軽井沢の街まで来た。白糸の滝付近から、カラマンの紅葉が盛りだ。

火山の上空を飛ぶのは、初めてではない。荒々しい火山の姿だ。火山は、黒い溶岩の上、雲仙岳の山頂にまで灰色

早川由紀夫教授
群馬大教授

浅間噴火この先も

火山の上空を飛ぶのは、初めてではない。荒々しい火山の姿だ。火山は、黒い溶岩の上、雲仙岳の山頂にまで灰色

第53回 高崎全国骨董大蚤の市
~同時開催 ワールド工芸品フェア~
12月3日(土)
4日(日)
5日(月)
高崎問屋街センター
高崎市問屋街2-7 当日直通Tel.027-361-8248

特集「高崎ルネッサンス」
別刷りを発行しました

おみやげ
おみやげ、おみやげ、おみやげ

群馬県カラ写真コンテスト 作品募集
お詫びと訂正のお知らせ

インターネットで 地域を愉しむ 文化的ウェブマガジン

info 地域を愉しむ 文化的ウェブマガジン

群馬 長野 茨城 山梨 栃木

林野庁の賃貸リゾート 「榛名湖ふれあいの郷」

魚とく レストラン ママノエル

長者温泉「ゆとり館」

信州須坂「田中本家博物館」

山梨県立博物館

甲斐国分寺跡の礎石

ACCESS http://www.info-kk.com/gunma